



平成19年4月19日

## 各 位

会 社 名 クラリオン株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 泉 龍彦  
(コード番号 6796東証・大証各第一部)  
問 合 せ 先  
責任者役職名 常務執行役員 広報室担当  
氏 名 川本 英利  
T E L (048) 443-1111 (代 表)

### 中期経営方針に関するお知らせ

当社は、株式会社日立製作所（以下、「日立」という。）が実施いたしました公開買付の結果、平成18年12月7日付で当社株式を63.66%保有したことにより、日立の子会社となるとともに、本年1月1日付で日立の100%子会社で車載情報通信機器専門メーカーである株式会社ザナヴィ・インフォマテイクス（以下、「ザナヴィ」という。）を当社の100%子会社といたしました。

当社が日立グループの一員となることにより、日立グループが中核事業の一つとして位置付けるオートモーティブシステム事業の車載情報システム事業において、日立グループが有する広範な技術力や開発力を活用するとともに、ザナヴィの子会社化により経営資源を有効活用し成長のスピードアップをはかることにより、さらなる発展を目指してまいります。

平成20年3月期を初年度とする新たなクラリオンのスタートにあたり、中期経営方針を下記のとおり策定いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 概 要

当社グループが事業ドメインとする車載情報端末機器市場は、今後着実に規模が拡大する見込みであり、特にカーナビゲーションを中核としたシステム商品は、自動車メーカーへの納入（OEM）が拡大する見込みであります。さらに、カーナビゲーションは、メディアの多様化への対応、ITS（高度道路交通システム）の進化への対応等を発展させて、さらに安全・安心・快適な運転をサポートするカーインフォメーションシステムへと進化してまいります。

中期経営方針として、平成22年（2010年）3月期において売上高2700億円、営業利益率目標5%を設定し、“成長”をキーワードとして、従来のクラリオングループの持つ企業力に、日立グループとのシナジー効果、ザナヴィとのシナジー効果を加え、グループ力を強化することで中期経営目標を達成してまいります。

##### 2. 日立グループとのシナジー効果

日立グループの持つ広範囲な先端技術、要素技術に加え、社会インフラへの対応技術、車両情報

サービス及び ITS 統合制御技術を中心とするリソースを活用し、スピードをあげての商品化、市場導入が可能となります。

カーインフォメーションシステムは、カーナビゲーション、オーディオ、通信、放送、走行制御との連携で進化しており、これらすべてに対応出来る競争力のある商品を生み出すことが可能となります。

### 3. ザナヴィとのシナジー効果

中核であるカーナビゲーションシステムの生産・販売量の大幅な拡大が見込まれます。

共同開発による製品プラットフォームの統一や CT0 構想 などにより、平成 22 年（2010 年）において 30%の開発効率向上を目標とします。（カーナビゲーション普及価格帯にグローバル戦略モデルを投入）

共同購買による購買コスト低減、グローバルレベルの生産拠点の活用による製造コスト低減、品質造成力の強化を実現します。（年間 8～10%の材料費低減の実現）

営業体制の強化をはかります。特にカーメーカーへの営業力が強化できます。

### 4. 全般的なシナジー効果グループ力の強化

これらのシナジー効果をより確実なものとするために、日立、当社、ザナヴィ、日立と当社との合併会社である株式会社エイチ・シー・エックスの 4 社において、人的交流をはじめとする事業計画や運営体制の一体化を促進してまいります。

以 上

### CT0(Configure to Order)構想

市場ニーズに基づきあらかじめ想定される技術シーズを先行開発し、部品棚に揃えることで、お客様の要望に沿った多彩な商品群・他社との差別化商品を短期に低コスト・高品質な形で提供する考え方です。